

## なかよし学級2組(知的障がい) 国語科学習指導案

1 単元名 「おはなしすごろくをしよう」(話す・聞く)

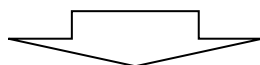
2 単元設定の理由

【児童について】

○ 本学級は、1年生1名、5年生1名の計2名で構成されている。子どもたちは、話すことが好きで、日常生活の楽しかったことや頑張ったことなどを教師にたくさん話すことはできる。しかし、緊張したり自信がもてなかったりするため、友だちに伝えることができなかつたり、声が小さくて伝わりにくかつたりすることが多い。

そこで、人との関わりの中で伝え合う力を高めたいこの期に本単元を取り上げる。そして、自分の好きなことや自分が経験したことを話したり、共感をもって聞いたり、相手に分かるように工夫して伝えたりすることができるようにする。

	聞くこと	話すこと	読むこと
1 年 A 児	友だちの方を向いて話を聞くことはできるが、内容を十分理解することができないため、集中が続かない。	見たり経験したりしたことを、話すことができる。緊張するのか、人前で話すことは苦手です。泣き出すこともある。	ひらがなは、全部読むことができる。1年生の教科書は、教師の後について読むことができ、話を楽しむことができる。
5 年 B 児	友だちの方を向いて、話を聞くことができ、内容の大体を理解することができる。	見たり経験したりしたことを話すことができる。相手に伝わるような声で発表することができるようになってきた。	5年生の教科書を音読することができ、内容の大体をつかむことができる。



【教材について】

- 本単元は、自分の好きなことや自分が経験したことを話したり、共感をもって聞いたり、相手に分かるように工夫して伝えたりすることをねらいとしている。
- 本教材「おはなしすごろくをしよう」は、すごろくをしながらゴールにたどり着くという目的やゲーム性があり、子どもたちが主体的に楽しく取り組むことができる。活動の中に友だちとの対話や自分の好きなことや自分が経験したことを話すなどの言語活動を取り入れることで、言語を通して自分のことを表現したり友だちのことを理解したりする力を高めることができる教材である。

【単元全体では、こんな表現活動を】

- 本単元では、自分の好きなことや自分が経験したことを話したり、共感をもって聞いたり、相手に分かるように工夫して伝えたりすることができるようにする。そのために、言葉集めをする「言葉すごろく」をしたり、自分のことを話す活動を通して話し方・聞き方の練習をしたり、それを生かして「おはなしすごろく」を友だちと楽しむことができるようにする。

【本時(4/5)では、こんな表現活動を】

「おはなしすごろく」のこまが止まった所の質問に、自分の好きなことや自分が経験したことを話すカードを準備し、相手に分かるような声ではっきりと話すことができるようにする。発言がスムーズにできるように文のモデルを示し、B児には、その理由まで話すことができるようにする。

### 3 目標

○ 発音や声の大きさに気を付けて、自分の好きなことや自分が経験したことを話すことができるようにする。 (知識及び技能)
○ 話す事柄を思い浮かべたり、伝えたいことを考えたりすることができるようにする。 (思考力、判断力、表現力) 【話すこと・聞くこと】
○ すごろくゲームを通して、言葉を使って自分の好きなことや自分の経験したことを友だちに伝えようとする態度を育てる。 (学びに向かう力)

### 4 単元計画 (全5時間)

	学 習 活 動	主 な 支 援
つ か む ①	<p>1 すごろく遊びのルールを知り、単元のめあてをつかむ。</p> <p>○ 「言葉すごろく」遊びをして、単元のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>単元のめあて 「おはなしすごろく」をして、じぶんのことをともだちにつたえよう。</p> </div> <p>(すごろくのルール)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さいころを振る。</li> <li>・さいころの目の数だけコマを進める。</li> <li>・コマが止まったところの質問に答える。</li> <li>・早く終わったら、友だちを手伝う。</li> </ul>	<p>○ すごろく遊びをしたいという意欲を持たせるために、簡単な「言葉すごろく」で遊ばせる。</p> <p>○ 学習の見通しを持たせるために、すごろくのルールを知らせ、学習計画を立てる。</p> <p>○ 話す回数を確保するために、さいころの目の数を3までにする。</p>
つ く る ②	<p>2 話し方、聞き方を学習し、友だちにもっと聞きたいことを考える。</p> <p>(1) 自分のことを紹介する活動を通して、話し方・聞き方について考える。</p> <p>○ 話し方を考える。(発音・声の大きさ・文型)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A児・・・わたしは、〇〇がすきです。</li> <li>・B児・・・ぼくは、〇〇がすきです。わけは、〇〇からです。</li> </ul> <p>○ 聞き方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A児・・・相手の方を見てうなずきながら聞く。</li> <li>・B児・・・分からないことを聞き返したりする。</li> </ul> <p>(2) 友だちにもっと聞きたいことを考えて、「おはなしすごろく」のカード作りをする。</p>	<p>○ 発音や声の大きさを意識して話すことができるように、口形の写真や声のもののさしを掲示しておく。</p> <p>○ 発言がスムーズにできるように、文のモデルを示す。B児には、理由まで話す文のモデルを示す。</p> <p>○ A児にカード作りができるように、なぞり書きをするカードを準備する。</p>
深 める ① 本 時 4 / 5	<p>3 友だちと一緒に「おはなしすごろく」をして楽しむ。 (本時)</p> <p>○ 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <p>○ ルールを確認し、学習の進め方を知る。</p> <p>○ 友だちと一緒に「おはなしすごろく」をする。</p> <p>○ 今日の学習を振り返り、お互いの頑張りを認め合う。</p>	<p>○ 話す事柄が思い浮かばない時のために、お助けカードを準備しておく。</p>
生 か す ①	<p>4 なかよし1組の友だちと一緒に「おはなしすごろく」を楽しむ。</p> <p>○ 互いに自分のことを話したり、友だちの話を聞いたりする。</p> <p>○ 学習を振り返り、感想を発表する。</p>	<p>○ 話す対象を広げるために、なかよし1組の友だちと一緒に「おはなしすごろく」をする場を設定する。</p>

## 5 本時主眼

- すぐろくゲームを通して、自分のことを話したり友だちの話を聞いたりすることができる。

1年A児	自分の好きな食べ物や遊びについて話したり、友だちの話を聞いたりすることができる。
5年B児	自分の好きなことや経験したことを理由を付け加えて話したり、友だちの話を最後まで聞いたりすることができる。

## 6 準備

すぐろくカード・さいころ・お助けカード・絵カード・言葉カード・文のモデルシート

## 7 展開

段階	学習活動と内容	主な支援
つかむ	<p>1 前時を振り返って、めあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 口の体操をする。</li> <li>○ 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと聞きたいことをカードにしたよ。</li> <li>・「おはなしすぐろく」遊びをします。</li> </ul> </li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「おはなしすぐろく」をして、じぶんのことをはなしたりともだちのはなしをきいたりしよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 口をはっきり開けて話すことができるように、口形の写真や声のものさしを提示する。</li> </ul>
つくる	<p>2 ルールを確認し、学習の進め方を知る。 (ルール)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さいころを振る。</li> <li>・さいころの目の数だけこまを進める。</li> <li>・こまが止まったところの質問に答える。</li> <li>・答えられない時は、お助けカードを使う。 (絵カード・言葉カード・友だちに聞く・先生と一緒に言う)</li> <li>・ゴールをしたら、みんなでハイタッチをする。</li> </ul> <p>3 友だちと一緒に、おはなしすぐろくゲームを楽しむ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習の見通しをもたせるために、ルールと学習の進め方を提示する。</li> </ul>
深める		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発言がスムーズにできるように、文のモデルを提示する。</li> <li>○ 話す事柄が思い浮かばない時のために、お助けカードを準備しておく。</li> <li>○ A児が聞き取ることができるように、B児には、ゆっくりはっきり話すように助言する。</li> </ul>
生かす	<p>4 今日の学習を振り返り、お互いの頑張りを認め合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことを話すことができた。</li> <li>・友だちの話を聞くことができた。</li> <li>・楽しくすぐろくゲームができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今日の学習の振り返りを促すために、◎○△のカードを準備する。</li> </ul>